**幼児礼拝9月①**

**聖書③：悲しい兄弟喧嘩の話し（カインとアベル）】**

今日は聖書に書かれている「悲しい兄弟げんかの話」をしたいと思います。

このお話では、アダムとエバの息子のカインとアベルが出てきます。

神様が最初に創ったにんげんアダムとエバは神様との大切な約束を破ってしまったので、悪い心が入りました。悪い心のある人は、エデンのそのには住むことが出来ないので、アダムとエバは神様と一緒に暮らすことが出来なくなりました。

神様はとても悲しまれました。しかし、神様は諦めずにもう一度神の国をつくろうと、こころに決めました。神様は、今度はアダムとエバの子供であるカインとアベルが仲良くすることを願われました。カインがお兄さん、アベルが弟です。カインは畑で野菜を作り、アベルは羊を育てていました。

ある日、神様はカインとアベルに供物をしなさいと言われました。　供え物とは、神様に自分が大切にしているものを捧げる、ことを言います。

カインは野菜作りが得意でした。だからカインは野菜を、心を込めて神様にお捧げました。

アベルは、たくさんの羊を飼っていました。そのなかで、一番元気な羊を、心を込めて神様におささげしました。すると、神様はカインの野菜は取らずに、アベルの羊だけを取られたのです。

アベルは「神様は僕の羊だけをとってくださったんだ。僕が一番えらいんだぞ！」と言いました。それを見ていたカインは「アベルだけずるい。僕も一生懸命供物を捧げたのに！」と怒りました。

カインは、怒りの気持ちで心が一杯になりました。そして、カインはアベルを、石でなぐって殺してしまったのです。それを見ていた神様はどんな気持ちだったのでしょうか。

とっても、とっても悲しまれました。

カインとアベルが、兄弟げんかをして、カインがアベルを殺してしまうことで、神の国を創ることは、出来なくなってしまいました。

では、カインとアベルはどうすればよかったのでしょうか？それは、アベルがカインに対して、「お兄ちゃん大丈夫だよ。僕が神様にお祈りをしてあげるから」といって、慰めてあげれば良かったのです。

そしてカインのために「どうして僕の供物だけを取るのですか。お兄ちゃんも頑張っているので供物をとってください」と、神様にお祈りをしたら良かったのです。

みんなも、自分がお父さん、お母さんや、先生に褒められたらとても気分がいいよね。そういう時こそ、周りをよく見てみるといいね。もしかしたら、頑張ったのにうまくいかずに、寂しくなっているお友達がいるかもしれない。

そんな時は、そのお友達になんて言ったらいいと思いますか？

「○○君（ちゃん）もとても頑張っていたよね。今度は絶対にうまくいくよ！」って励ましてあげましょう！

そして、兄弟やお友達と喧嘩をしないで、仲良くすごしましょう。

神様はとても喜んでくれると思います！以上でおわります。